

2025 年度事業報告

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

2025 年度事業報告について

定款第 5 条に基づき、2025 年度は以下の事業を実施した。(総括)

<p>1. 創立 80 周年記念事業 2050 年 九州・沖縄・山口地域の飛躍のための戦略構築 (1) 2050 年の活力ある九州・沖縄・山口地域実現のための戦略に関する研究 (2) 九州・沖縄・山口地域の主要産業の変遷と将来展望に関する研究 (3) 生成 AI を実装したビッグデータ分析・デジタルサービスの開発 ~DATASALAD2.0 (4) 説明会の実施とオンラインによる情報発信</p>
<p>2. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 ③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信 ⑤その他の事業 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成事業 (4) おでかけウォッチャー事業</p>
<p>3. 講演会・セミナー事業 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②アジア経済講演会 ③調査技法セミナー (3) BIZCOLI でのセミナー・イベント ①ビズコリトーク ②地域経営セミナー ③共催セミナー ④九州国立博物館応援セミナー ⑤サイエンス・カフェ ⑥ビッグデータセミナー</p>
<p>4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営 (3) 個室空間の提供 (4) レンタルアドレスサービス</p>
<p>5. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会の事務局 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局</p>
<p>6. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 (5) インターンシップの受入</p>
<p>7. 会務運営 (1) 運営体制の充実を図るための取り組み (2) 財務経理・人事労務並びに人材育成の強化 (3) コンプライアンス強化の対応 (4) 会員維持・拡大</p>

1. 創立 80 周年記念事業

2050 年 九州・沖縄・山口地域の飛躍のための戦略構築

2026 年は、創立 80 年の節目の年を迎える。このため、第 65 回理事会（2025 年 10 月 21 日（金））において、2028 年度末までの 3 年半の期間に、以下の 4 つの柱で構成される創立 80 周年記念事業を実施することが承認された。これを受けて 2025 年下半期より事業に着手し、同時に賛助会員に対して寄附の要請を行った。

（1）2050 年の活力ある九州・沖縄・山口地域実現のための戦略に関する研究

2050 年を見据えて、時代の変化の本質を見定め、九州・沖縄・山口地域の経済・社会の将来像と地域の発展のための戦略を明らかにする。

2025 年度は戦略の考え方に関する方向性、将来にわたって地域経済社会に影響を及ぼすメガトレンドについて検討し構成案を議論した。

（2）九州・沖縄・山口地域の主要産業の変遷と将来展望に関する研究

九州・沖縄・山口地域の主要産業について、歴史的な変遷を明らかにし、変革期や危機到来時の対応をふり返る。同時に、主要産業の将来像を描くとともに、九州の次世代のリーディング産業を展望する。

2025 年度は、取り上げる産業について議論し、対象とする業種の抽出を進めた。

（3）生成 AI を実装したビッグデータ分析・デジタルサービスの開発～DATASALAD2.0

創立 70 周年記念事業で開発した九州地域経済分析プラットフォーム「DATASALAD」について、生成 AI による分野横断的な分析とレポート作成機能を実装させた「DATASALAD2.0」としてバージョンアップを行う。

2025 年度は、技術的な設計に着手し、時間地図生成の PoC（概念実証）を実施した。

（4）説明会の実施とオンラインによる情報発信

成果物を幅広く活用頂くため、各地での成果報告会の実施とオンラインによる情報発信を行う。2025 年度は報告会の準備に着手した。

2. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」でレポートを作成・発表するとともに、Web サイトを通じた「④地域経済のデジタル配信」等に取り組んだ。

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は1967年の刊行以来、経済・社会情勢を踏まえて毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。

2026年版は、「食・農の未来～食の安定供給に向けた農業の基盤強化」を刊行した。食料安全保障の観点から最低限必要となる農地の規模について推計し、農地を維持する方策について検討した。分析にあたっては、統計データの分析に加えて、農業経営体と食品関連企業に対して2種類のアンケート調査を実施した。また、農業経営体や農業関連ビジネスを行う企業、行政機関等に対してヒアリングを実施し、農業の生産性向上や農業に携わる経営体・担い手の確保のあり方について考察した。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

「九州経済調査月報」は、毎月テーマを設定して刊行している。

2025年度は、5月号で「九州における観光地域経営とその論点」を、8月号では「個を活かす組織経営」を企画した。後者では、「静かな退職」への対策や、九州の老舗企業の組織改革事例などを通じ、人材と企業が共に成長するための組織のあり方を提示した。11月号では、次世代の産業基盤として期待される「ディープテック」に注目して特集を組んだ。

3月号では、「スタジアム・アリーナ整備と地域振興」を特集した。九州・沖縄におけるスタジアム・アリーナの開発動向や運営の実態、周辺地域への経済波及効果などを明らかにし、地域活性化の核として果たすべき役割を提示した。

なお、幹事会からの提案による自主研究として、4月号では「九州の森林利用」、9月号では「九州の森林資源の需給バランスとサプライチェーン」、12月号では「外国人材とともに成長する九州地域を目指して」を取り上げた。

発行日	内 容
4月号 4月7日 (月) 発行	特 集 九州の森林利用 (Report) 九州の森林利用 九州地域の持続可能な森林利用のために 九州における森林利用産業の先行事例 ～持続可能な森林およびサプライチェーン管理の観点から～シンポジウム 社会を変える 地域を動かす「社会起業家の芽吹く九州」に向けて 九州における森林利用産業の先行事例 ～持続可能な森林およびサプライチェーン管理の観点から～
5月号 5月8日 (木) 発行	特 集 九州における観光地域経営とその論点 (Report) 九州における観光地域経営とその論点 ツーリズム・ディスティネーションの競争優位：観光地経営の成功要因 グローバルサミットでの議論と国内市場規模の試算にもとづく日本のナイトタイム エコノミーの展望 絶景九州グループの現状と今後の展開 風景写真が九州の観光に貢献！七万人を集めた Facebook 絶景九州グループが目指 すもの おでかけウォッチャー国内版の進化と訪日版の開発 おでかけウォッチャーでみるコンテンツコラボ企画のインパクト分析 ー佐賀県立博物館「忠吉から忠広へー集結！初代忠吉ー×『刀剣乱舞ーONL I NEー』コラボレーション企画を事例として (連載) 価値創造の源流 (83) (株)Booon (長崎市)
6月号 6月6日 (金) 発行	特 集 九州の地域研究 (Report) 2024年度 九経調地域研究助成事業 大分県のファミリービジネスの国際化にかかる考察 アートプロジェクト終了後の地域の動きと作品の受け取られ方 ー今後の地域づくりへの活用を見据えてー (連載) 価値創造の源流 (84) (株)ムーンスター (久留米市)
7月号 7月3日 (木) 発行	特 集 米国関税政策発動による九州への経済的影響 (Report) 米国関税政策発動による九州への経済的影響 九州地方における外国人介護福祉士の受け入れに関する実態調査 ショートドラマと異文化交流の関係性 ー異文化LABの実践を通してー (連載) 九州地域におけるアメリカ合衆国向け輸出の現状 ～財務省「貿易統計」の分析 価値創造の源流 (85) ミクロエース(株) (宮崎市)
月号 8月5日 (火) 発行	特 集 個を活かす組織経営 (Report) 個を活かす組織経営 「個を活かす組織経営」への変革～人材と企業双方の新たな成長ステージに向けて～ 九州企業に学ぶ“開かれた組織”のつくり方 「静かな退職」から「静かな定着」へー“辞めない理由”が個を活かす組織をつくる 越境活動を称賛する組織が未来を創る～社員の挑戦が企業と地域を変える～ 好きなことを仕事にするキャリア開発術 ～40歳からサッカーイラストを描き始めて日本サッカー協会に辿り着くまで～ (連載) 就業構造基本調査からみる若者の「働きがい」実現に向けた環境づくり

発行日	内 容
9月号 9月10日 (水) 発行	特 集 九州の森林資源の需給バランスと サプライチェーン (Report) 九州の森林資源の需給バランスとサプライチェーン 九州の森林と森林利用産業の現状と展望 資源循環と出口戦略をみずえて 森林と金融をつなぐ 森林ビジネスに対する金融機関の関わりとそのポテンシャル 九州における参入事例と森林利用産業の新展開 (連載) 価値創造の源流 (86) Lost Item Delivery(株) (別府市)
10月号 10月8日 (水) 発行	特 集 岐路に立つ地方百貨店 (Report) 岐路に立つ地方百貨店 二極化する百貨店業界と地方百貨店の生き残り策 流通ビジネスにおける新たなチャネル戦略への提言 —デジタル時代のファッション消費に着目して— 販売額、家計消費からみた地方百貨店の役割変化 2025年度九州経済見通し (改訂) 物価高、輸出減により減速する九州経済 (講演録) 2024年度 新政権下のインド経済：現状と課題 (連載) ショッピングセンターの立地変化
11月号 11月6日 (木) 発行	特 集 九州地域におけるディープテック振興の可能性 (Report) 九州地域におけるディープテック振興の可能性 産学連携に特化し、研究シーズの社会実装と 地域活性化に貢献 大学発ベンチャー実態等調査から見る 九州・沖縄における大学発ベンチャーの現状 大学発ベンチャーの経済波及効果の試算 東北地方におけるディープテック系 スタートアップ・エコシステム構築に向けた基礎調査 (連載) 価値創造の源流 (87) Kick Space Technologies(株) (北九州市戸畑区)
12月号 12月11日 (木) 発行	特 集 外国人材とともに成長する 九州地域を目指して (Report) 外国人材とともに成長する九州地域を目指して 九州地域の外国人材受け入れの現在とこれから ～世界・アジアのなかで～ 外国人雇用に関する主な論点 外国人材の「採用・受け入れ」段階における 九州企業の取り組み 自社主導の戦略的な採用で「選ばれる企業」へ 外国人材の「育成・能力発揮」戦略 日本語力を基盤とした安心と成長の環境整備 外国人材と企業成長 — 定着・継続雇用から海外進出への橋渡しへ 今後の期待高まる人材輩出国・キルギス共和国 (講演録) 2025年度 バングラデシュと九州をつなぐ —高度外国人材の活躍—
1月号 1月15日 (木) 発行	特 集 九州の新たな1年 (Report) 九州の新たな一年 持続可能な森林利用に向けた九州経済連合会「モクビル」普及促進の取組 (連載) 最低賃金引き上げについて 価値創造の源流 (88) (株) ビートコアジャパン (宮崎市)
2月号 2月10日 (火) 発行	特 集 ビッグデータを用いた観光マーケティング (Report) ビッグデータを用いた観光マーケティング おでかけウォッチャーでみるツール・ド・九州 2025 の人流分析 『おでかけウォッチャー』でみる佐賀インターナショナルバルーンフェスタの 開催にかかる人流データの分析 九州地域のインバウンド消費額 —インバウンド消費動向調査の調査票情報に基づく推計 おでかけウォッチャー訪日版を用いた福岡県柳川市のインバウンド動向分析 2026年度九州経済見通し 民間消費主導で底堅く成長する九州経済

発行日	内 容
3月号 3月12日 (木) 発行	特 集 スタジアム・アリーナ整備と地域振興 (Report) スタジアム・アリーナ整備と地域振興 スタジアム・アリーナ整備の動向と効果 九州・沖縄におけるスタジアム・アリーナの開発・運営動向と地域戦略 (連載) 「DS・量販専門店」への強固な支持変わらず：九州各県にみる特定業態への集中 ～総務省統計局「全国家計構造調査」より 価値創造の源流 (89) ユワキヤ醤油㈱ (大分市)

2) 2026年版 図説九州経済

「図説九州経済」は九州地域経済の概要を図表や地図情報、データで判りやすく解説するもので、毎年1回刊行している。

2026年版(2025年11月刊行)は、データセンターの立地状況や外国資本の企業数の図表を追加するなどコンテンツを一部見直した。さらに、「図説九州経済」の利用者に対して、「DATASALAD」の有償サイトを一定期間無償で閲覧可能とする等、Webと連動させることでデータ提供を充実させた。

『2026年版 図説九州経済』 11月刊行

3) メールマガジン(九経調ニュースレター)

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナーや、当会の刊行物等の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 119件 (2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火))

③幹事会からの提案による自主研究

2025年度の幹事会からの提案による自主研究は、「九州の森林資源とその利用」ならびに「外国人材」をテーマに取り上げた。九州経済調査月報4月号の特集「九州の森林利用」と9月号の特集「九州の森林資源の供給バランスとサプライチェーン」では、森林資源が地域社会にもたらす多面的機能について整理するとともに、統計資料や事例から、九州の森林利用産業が課題を乗り越え新しい価値を創出するための方策について検討した。12月号では、「外国人材とともに成長する九州地域を目指して」と題して特集を組み、世界スケール・アジアスケールの目線で九州における外国人雇用の実態を明らかにした。その上で、外国人材の採用から定着、彼らの能力発揮に向けた環境整備の重要性について、九州企業の事例を交えて紹介した。

なお、研究成果については、BIZCOLIで開催するセミナー「ビズコリトーク」にて報告を行った。

九州の森林と森林利用産業の現状と展望 九州経済調査月報4月号、9月号掲載
 外国人材とともに成長する九州地域を目指して 九州経済調査月報12月号掲載

④地域経済情報のデジタル配信

創立 70 周年記念事業で構築した「DATASALAD」において、地域経済情報のデジタル配信を実施している。

2025 年度は掲載コンテンツの時系列表示の改善、ヘッドラインの更新頻度の増大など操作性改善・利便性向上に取り組んだ。また、賛助会員の利用促進に向けて、個別企業や大学などへの説明会・講習会を実施した。なお、DATASALAD の延べアクセスユーザー数は 3 月末時点で 7.9 万ユーザー、2025 年度の延べアクセス数は約 426 万件であった。

⑤その他の事業

毎年、地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部、主要企業の幹部等との意見交換会を行っている。

1) 国内研究会の開催、参加

A. 九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議

1967 年度より毎年 2 回、九州・沖縄の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
9月4日 (木)	九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議（沖縄）	おでかけウォッチャーにみるナイトタイムエコノミ	片山部長 (講演)	15人
2月19日 (木)	九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議（鹿児島）	シリコンアイランドの「次」に来るもの～2026年の九州経済・産業構造の変化と機会	片山部長 (講演)	15人

【加盟機関】

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(株)長崎経済研究所
(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会	

B. 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟しており、第 38 回地方シンクタンクフォーラム（11 月 27 日（木）：金沢市）に出席した。また、九州・沖縄ブロックでの活動では、幹事として 2 月 24 日（火）に開催された情報交換会&勉強会を企画・開催した。また、3 月 12 日（木）に福岡で開催された同協議会経営会議とエクスカージョンに参加するとともに、協議会運営を支援した。

【九州・沖縄ブロック加盟機関】

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(公財)九州経済調査協会
----------------	----------	--------------

2) 国際会議の開催、参加

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
10月30日 (木)～ 31日(金)	日韓海峡圏研究機関協議 会 2025 年度定期総会・研 究報告会 (韓国・麗水)	SDGs と地域活性化	縄田理事長 清水主任研究員 原口課長	60 人
11月14日 (金)～ 15日(土)	第 18 回福岡・釜山フォー ラム福岡会議 2025 (福岡)	福岡-釜山超広域経済圏： その成果と今後のビジョン	縄田理事長 加峯部長 原口課長	80 人

(2) 受託研究事業

2025 年度は合計 61 本のプロジェクトに取り組んだ。半導体産業に関連して、地域づくり、企業誘致戦略、人材育成、サーキュラーエコノミー（廃棄物処理に関する動静脈連携）など、様々な切り口で複数の受託調査を手がけた。その他では、総合計画や観光振興基本計画、アクションプランなど地域振興に資する行政計画策定、DX、医療福祉分野での受託調査等が多かった。また、当会のおでかけウォッチャー事業のデータを活かした観光分析調査の引き合いも増えている。

【分野別受託研究一覧】

* 公開可能分を掲載

(統計作成・分析)		
1	景気ウォッチャー調査 (九州地域)	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
2	地域別支出総合指数 (RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
(地域振興)		
3	荒尾市総合計画策定支援業務	荒尾市
4	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)バズフック (福岡市)
5	令和 7 年度北部九州における MICE 向け産業視察対応意向調査、並びに視察先資料作成について	(公財)福岡観光コンベンションビューロー
6	九州大学学術研究都市推進機構中期事業計画策定等支援業務	(公財)九州大学学術研究都市推進機構
7	県北部中央域の地域振興・新幹線新駅設置に関する調査支援業務委託	直方市
8	東峰村岩屋湧水活用の可能性調査業務	STORY DESIGN(株) (東峰村)
9	天草市観光振興アクションプラン策定支援業務	天草市
10	令和 7 年度佐賀県情報発信事業経済波及効果調査	(株)サニーサイドアップ (佐賀県)
11	令和 7 年度第 3 次糸島市観光振興基本計画策定支援業務	糸島市
12	みやま市宿泊施設立地可能性調査業務委託	みやま市
(産業振興)		
① 産業全般		
13	卸売・小売業を中心とした市内企業の DX に関する調査業務委託	北九州市
14	企業誘致推進アドバイザー業務委託 (中小企業振興基本計画との整合性及びシナジー測定アドバイザー)	嘉麻市
15	「北九州市貿易統計」作成業務	(公財)北九州貿易協会
16	次世代の自動車製造業に関する調査業務	(公大法)北九州市立大学

17	政策金融評価報告書に係る調査・分析等の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
18	コンベンション施設の魅力向上に向けた調査・企画検討業務委託	福岡市
19	中小企業実態調査・分析業務	大野城市
② 農林水産・食料品		
20	延岡市農林水産業公社設立等新戦略検討業務委託	延岡市
③ 半導体関連		
21	北九州シリコンシティ構築調査業務	北九州市
22	九州地域における先端半導体に資する人材育成推進事業に係る調査	(一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会
23	福岡市における半導体関連企業集積状況等調査業務委託	福岡市
24	令和7年度企業版ふるさと納税マッチング及び半導体最先端実装拠点構築に向けた連携推進業務委託	福岡県
④ 観光		
25	令和7年度(2025年度)熊本県観光統計調査業務委託	熊本県
26	令和6年度DX観光客動態調査事業委託業務	(株)リクルートライフスタイル沖縄(沖縄県)
27	人流データ活用による観光動向調査・分析業務委託	熊本市
28	観光人流データ調査支援及びダッシュボード更新業務	北九州市
29	令和6年版(2024)佐賀県観光デジタル人流分析(年報)作成業務	佐賀県
30	令和7年度DX観光客動態調査事業委託業務	(株)リクルートライフスタイル沖縄(沖縄県)
31	中津市観光動態・観光マーケティング調査業務(人流データ分析)	(株)イースト(中津市)
32	令和7年度インバウンド人流データによる効果分析業務	佐賀県
33	ロマンシング佐賀2024による佐賀県内における経済波及効果測定業務	(株)マルキュウ(佐賀県)
34	「歩く観光による幸せの効果測定の可能性:観光サービスの統合的なアプローチ」研究に係る現地調査業務	和歌山大学
(社会資本)		
35	令和7年度福岡県国土利用計画(第五次:仮称)策定に係る調査業務委託	福岡県
(雇用・人材育成等)		
36	営業提案・プレゼンテーションに関する研修	九電テクノシステムズ(株)
37	令和7年度地域経済産業活性化対策調査(企業成長に向けた「働きがい改革」の推進に係る調査事業)	九州経済産業局
38	仕事のやり甲斐と喜びをモチベーションに変える講演&ワークショップの企画及び実施業務	九電テクノシステムズ(株)
(医療・福祉)		
39	福岡市保健福祉総合計画策定支援等業務委託	福岡市
40	ユマニチュードの効果に係るエビデンス調査におけるデータ収集等業務委託	福岡市
41	大牟田市健康福祉総合計画策定等支援業務委託	大牟田市
42	福津市第11期高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画策定支援業務	福津市
43	「令和7年度校区社協会長アンケート」に伴う集計・分析等業務委託	(社法)福岡市社会福祉協議会

44	令和7年度「福岡市地域包括ケアシステム推進事業」並びに「福岡市在宅医療・介護連携推進事業」に関する支援業務委託	ラボラトリオ(株) (福岡市)
45	大牟田市在宅医療・介護連携ビジョン推進支援業務に係る支援業務委託	ラボラトリオ(株) (大牟田市)
(環境・脱炭素)		
46	令和7年度資源自律経済確立産官学連携加速化事業(特定領域におけるサーキュラーエコノミー実現に向けた調査分析)における九州地域における半導体関連製品のサーキュラーエコノミー実現に向けた実態調査	(株)三菱総合研究所 (経済産業省)
47	令和7年度地域における中堅・中小企業の経済合理的な脱炭素化の取組に関する調査	九州経済産業局
48	プラスチックの地域循環利用推進に向けた基礎調査業務委託	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター

(3) 九経調地域研究助成事業

九経調地域研究助成事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するため2014年度から実施しており、2025年度で12回目を迎えた。1月28日(火)～3月28日(金)に計36本の申請を受け付けた。5月15日(木)に開催した九経調地域研究助成委員会において助成候補3本を選考し、5月29日(木)の理事会にて助成先を正式に決定した。なお当事業は、(一財)ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団の特別協賛を受け、2025年度から1本当たり30万円に助成金を増額した。

また、2024年度に助成対象となった論文4本を九州経済調査月報6、7月号に掲載し、ビズコリトークにて成果報告を行った。

▼審査結果

助成額：30万円助成/本

	テーマ	申請者・研究代表者(敬称略)
1	地域特性を考慮した少子化に寄与する子育て支援策とは?—九州地区に焦点を当てて	日本経済大学東京渋谷キャンパス経営学部 中央大学大学院総合政策研究科総合政策専攻 准教授・博士後期課程学生 鎌田 雅子
2	地方創生の起点となる地域アントレプレナーの存在と醸成	地域政策デザインスクール フェロー 吉川 靖彦
3	地域振興と負の遺産 ハンセン病問題を解決するための記憶遺産の有効活用と地域振興の課題	熊本大学大学院人文社会科学部(法) 准教授 徳永 達哉

▼九経調地域研究助成委員会 委員

(敬称略)

氏名	所属・役職	備考
縄田 真澄	(公財)九州経済調査協会 理事長	委員長
坂井 猛	(公財)福岡アジア都市研究所 理事長	
田川 大介	(株)西日本新聞社 代表取締役社長	
松田 美幸	(公財)九州先端科学技術研究所 特別研究員	
水木 祐一	(株)日本政策投資銀行 九州支店長	

*委員の所属・役職は委員会開催時(2025年5月)

(4) おでかけウォッチャー事業

おでかけウォッチャー事業は、スマートフォンの位置情報を活用した観光客等の人流データを、自治体等に提供するサービスである。個別の観光スポットにおいて、こういった人達が（属性）、どこから（発地）、何人来訪したのか（人数）を把握し、また、直前・直後の立ち寄り先（周遊）を把握するものである。

2025年度は、インバウンドの分析を追加するなどコンテンツの拡充に取り組んだほか、民間へのサービス提供を開始した。現在、基本サービス（無償）は47都道府県で949団体が活用し、プレミアムサービス（有償）は、212団体と契約、393アカウントを発行している。

当会のサービスは、総務省の「ビッグデータ・ポータル」にビッグデータの事例として掲載されているほか、観光庁「観光DXコミュニティ」に自治体・観光協会・DMO向けの解説動画（当会作成）が掲載されている。2025年度には、「広島県DX推進コミュニティ」におでかけウォッチャーを用いた同県の取組みが掲載された。

3. 講演会・セミナー事業

会員の関心が高いテーマに関する情報を提供するとともに、当会の研究成果を広く伝えるため、講演会やセミナーを開催している。会場開催やオンライン開催、ハイブリッド（オンライン+会場）開催を使い分け、2025年度は47回実施し、参加者数は延べ1,787人であった。

(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（計13回）

2026年版九州経済白書「食・農の未来～食の安定共有に向けた農業の基盤強化」を2026年2月に刊行した後、九州・沖縄・山口の12都市にて説明会を開催し、550名の参加があった。2025年6月には、2025年版九州経済白書「事業承継から描く九州の未来～適切な新陳代謝による生産性革命への挑戦～」をオンラインにて開催した。

地区	日時	会場	主催・共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月6日 (金)	FFGホール	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)福岡銀行 福岡商工会議所	能本次長	137人
北九州	2月25日 (水)	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)福岡銀行 北九州商工会議所	能本次長	34人
久留米	3月17日 (火)	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	岡野常務理事兼調査研究部長	32人

地区	日時	会場	主催・共催・後援機関	説明者	参加者数
佐賀	2月20日 (金)	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	能本次長	17人
長崎	2月17日 (火)	十八親和銀行本店	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 (株)長崎経済研究所 【後援】長崎経済同友会	能本次長	31人
佐世保	3月9日 (月)	FFG 佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 佐世保商工会議所 【後援】長崎経済同友会	能本次長	32人
熊本	3月4日 (水)	くまもと森都心 プラザ	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	能本次長	48人
大分	2月19日 (木)	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	能本次長	43人
宮崎	2月27日 (金)	宮崎銀行本店	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	能本次長	65人
鹿児島	3月5日 (木)	鹿児島銀行本店 別館ビル	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	岡野常務理事 兼調査研究部長	34人
沖縄	2月12日 (木)	パシフィックホテル 沖縄	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	能本次長	27人
山口	3月13日 (金)	シーモールパレス	(株)山口フィナンシャルグループ (株)山口銀行 (一財)山口経済研究所 【後援】山口経済同友会	能本次長	50人
オンライン	2025年 6月12日 (木)	Zoom ウェビナー	(公財)九州経済調査協会	松尾主任研究員	48人

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会 (1回)

九経調交流会は、会員との交流や会員間の交流を目的に開催している。2025年度は、埼玉大学経済経営系大学院の教授で経営学者の宇田川元一氏を講師に迎え、「経営するとはどういうことかー構造的無能化を越えて」をテーマに講演会を開催した。講演会終了後は懇親会を開催し、会員間の交流を図った。

	テーマ	講師	参加者数
12月23日 (火)	経営するとはどういうことかー構造的無能化を越えて	埼玉大学 准教授 宇田川元一氏	講演会 132人 (懇親会 43人)

②アジア経済講演会 (1回)

1962年以来、(独法)日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所との共催で毎年開催している。2025年度は「バングラデシュと九州をつなぐー高度外国人材の活躍ー」をテーマに開催した。(会場開催)

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月2日 (火)	Bangladesh と九州をつなぐ —高度外国人材の活躍—	ジェトロ・アジア経済研究所 理事 村山 真弓 氏 (株)教育情報サービス 代表取締役 荻野 紗由理 氏	49人

* ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の3者共催

③調査技法セミナー (1回)

九州・沖縄・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催しており、2025年度は「文献調査」と「情報編集」をテーマに9月に開催した。
(会場開催)

【プログラム】

日 程	内 容	講 師	参加者数
9月11日 (木)	シンクタンク業務における文献調査の手法	(株)日本能率協会総合研究所 MDB事業本部 伊藤 正啓 氏	25人
	文献調査の技法—国会図書館秘伝のレファレンス・チップス	近代出版研究所 所長 小林 昌樹 氏	
9月12日 (金)	編集の基礎	当会 清水主任研究員	23人
	おでかけウォッチャーのご紹介	当会 得能研究員	

【参加機関】

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(株)福岡銀行	(株)ちくぎん地域経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所
(株)九州経済研究所	(株)おきぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫
(株)りゅうぎん総合研究所	(一財)山口経済研究所	(公財)九州経済調査協会

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLIでは、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、2025年度は合計30回実施した。

①ビズコリトーク (計12回)

九州経済調査月報をもとに、当会の研究員や外部の寄稿者によるセミナーを開催している(オンライン開催)。九州の森林利用、九州における観光地域経営、米国関税政策による九州への経済的影響、九州の地域経済分析、九州地域におけるディープテック振興の可能性、九州地域での外国人材の受け入れ等をテーマに研究成果を報告した。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月8日 (火)	九州の森林利用	九州大学大学院生物資源環境科学府 環境農学専攻 博士後期課程2年生 上野 竜大生 氏、幅木材流通コンサルタント事務所 幅 建樹 氏、当会 河村研究主任	19人
5月13日 (火)	九州における観光地域経営とその論点	和歌山大学観光学部 教授 八島 雄士氏、(株)日本政策投資銀行 産業調査部地域調査部 課長 石川宏典 氏、事業構想大学院大学 特任教授 若林 宗男 氏、当会 渡辺主任研究員、得能研究員	37人
6月23日 (月)	九州の地域研究	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 准教授 福山 公博 氏、関西大学大学院 文学研究科 博士前期課程 石田 絵里香 氏	13人
7月8日 (火)	米国関税政策発動による九州への経済的影響 *6月に続き「九州の地域研究」2名の発表	立命館アジア太平洋大学 言語教育センター 講師 水戸 貴久 氏、九州大学比較社会文化研究院 特別研究員 竹内 欣 氏、当会 松嶋次長	37人
8月19日 (火)	個を活かす組織経営	九州経済産業局 企画調査課 前田 花 氏、NTT 西日本(株) 総務人事部 プロフェッショナル人材戦略部門 担当部長 及部 一堯 氏、当会 永野研究主査	35人
9月16日 (火)	九州の森林資源の需給バランスとサプライチェーン	元 林政審議会 委員 松本 晃 氏、幅木材流通コンサルタント事務所 幅 建樹 氏、当会 河村研究主査	19人
10月14日 (火)	岐路に立つ地方百貨店	当会 松嶋次長、仁後調査役	38人
11月11日 (火)	九州地域におけるディープテック振興の可能性	当会 片山部長、松嶋次長、白石研究員	15人
12月16日 (火)	外国人材とともに成長する九州地域を目指して	(株)日本政策金融公庫総合研究所 副所長 藤井 辰紀 氏、公益法人キルギス共和国 日本人材開発センター 共同所長 田中 真也 氏、当会 片山部長、平松研究主査、白石研究員、吉村研究員、野田調査役	23人
1月20日 (火)	九州の新たな1年	当会 松嶋次長、河村研究主査、白石研究員	36人
2月17日 (火)	ビッグデータを用いた観光マーケティング	当会 松嶋次長、石原調査役、秋野研究主査、三宅研究員	36人
3月17日 (火)	スタジアム・アリーナ整備と地域振興	当会 松嶋次長、秋野研究主査	43人

②地域経営セミナー (計3回)

地域経営セミナーでは、九州に赴任された方や新社会人の方に九州経済の概況について解説する「Introduction! 九州経済2025」を7月に開催した。また、当会のコンテンツである「図説九州経済」「DATASALAD」をビジネスに活用いただけるよう、「図説九州経済2026」の解説とDATASALADの設定・操作方法から活用事例を紹介する「発見! 九州経済のポテンシャル2026」を1月に開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月20日 (火)	VUCAの時代に必須！ 未来洞察のための情報収集メソッド～1歩先 行くビジネスパーソンへ～	(株)日本能率協会総合研究 所 MDB事業本部 伊藤正 啓氏	62人
7月29日 (火)	Introduction！九州経済2025	当会 加峯部長	68人
1月27日 (火)	発見！九州経済のポテンシャル2026	当会 片山部長 平松研究主任	83人

③共催セミナー（計5回）

共催セミナーは、賛助会員等とのコラボレーションで開催するもので、2025年度は、九州産業大学、(株)ちくぎん経済研究所、(株)日本能率協会総合研究所、KPMGコンサルティング(株)とともに実施した。

日程	テーマ	講師	参加者数
9月12日 (金)	ちくぎん経済研究所×BIZCOLI共催 セミナー 「意思決定の心理学と株式投資」	西南学院大学人間科学部心理学科 准教授 分部 利紘氏	会場 31人 オン ライン 26人
11月19日 (水)	事業計画導入セミナー「“考える力” を鍛える 企業のための事業戦略の設 計図」	(株)日本能率協会総合研究所 MDB 事業部 副本部長 稲富 健氏	108人
12月18日 (木)	地方におけるクライシスマネジメン トの重要性～事例から考える有事対 応の実態～	KPMGコンサルティング アソシエ イトパートナー 馬場 智紹氏、A &S福岡法律事務所パートナー 不 正調査・RMPG マネージャー 磯部 慎吾氏、KPMGコンサルティング マネージャー 長瀬 亮介氏	会場 9人 オン ライン 31人
2月4日 (水)	第15回九州産業大学×BIZCOLIコラ ボセミナー「グローバル化する介護 人材～インドネシア事例から考える 制度と人材確保戦略～」	九州産業大学 経済学部 准教授 中村 和敏氏	16人
3月13日 (金)	第16回九州産業大学×BIZCOLIコラ ボセミナー「地域交通の論点整理～3 つのキーワードから～駅ビル・結節 強化・自然災害 九州の地域交通は 生き残れるのか？」	九州産業大学 経済学部 教授 加藤 要一氏、地域共創学部 教授 田代 雅彦氏、経済学部 教授 芳賀 博文 氏、国際交流センター 特任教授 深澤 良信氏	24人

④九州国立博物館応援セミナー（計3回）

九州国立博物館で開催される特別展にあわせて担当学芸員が解説するセミナーを、2025年度は3回オンライン形式で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
8月6日 (水)	見どころ解説！ 九州の国宝 きゅーはくのたから	九州国立博物館 文化財課長 伊藤 信二 氏	30人
10月22日 (水)	「法然と極楽浄土」の見どころ解説	九州国立博物館 資料登録室長 森實 久美子 氏	37人
1月26日 (月)	「平戸モノ語りー松浦静山と熙の情熱ー」2人の魅力と本展覧会から学ぶ視点	九州国立博物館 主任研究員 松浦 晃佑 氏	31人

⑤サイエンス・カフェ （計7回）

サイエンス・カフェは、科学者による市民向け勉強会で、九州大学が企画し、当会が主催している。九州大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題を提供している。

2025年度は7回、会場開催で実施した。

日程	テーマ	講師	参加者数
5月30日 (金)	雲のミクロな世界に迫る！～地球温暖化で雲も変化するの？～	九州大学 応用力学研究所 准教授 道端 拓朗 氏	26人
6月20日 (金)	空を飛びかう見えない波をつかまえる～45ヶ所で気圧を測ると??～	九州大学理学研究院 准教授 中島 健介 氏	22人
9月5日 (金)	生体深部の謎に迫る！～目に見えない光で見えてくる世界～	九州大学 大学院理学研究院 化学部門 教授 平松 光太郎 氏	33人
10月24日 (金)	英単語の謎に迫る！～学習効率を高めるための言語学的アプローチ～	九州大学 言語文化研究院 言語環境学部門 准教授 内田 諭 氏	26人
11月21日 (金)	ワンヘルスの謎に迫る！～福岡県と大学が挑む AI×ワンヘルス実証実験～	九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 准教授 横田 文彦 氏	21人
12月19日 (金)	健康を守る“細胞バリア”のしくみの謎に迫る！～タイトジャンクションと細胞接着が形づくる上皮の世界～	九州大学医学研究院・生化学分野 教授 福池ノ内 順一 氏	21人
3月6日 (金)	パラサイト昆虫の巧妙な戦略の謎に迫る！～寄生アリや寄生バチによるホストの行動操作～	九州大学大学院理学研究院 生物科学部門 助教 高須賀 圭三 氏	27人

4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに空間づくりに努めており、九州の経済社会情報に加えて、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の収蔵、新聞記事等のインターネット検索サービスの提供、セミナーやイベント、企業との共同展示を実施している。また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供している。

（1）地域経済図書館としてのサービス

1) BIZCOLI の利用状況

2025年度の利用者は、2024年度にビズコリ会費を値上げしたことにより対前年同期比約7%減少し、18,099人となった。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
2012年度	8,044人	19年度	20,544人
13年度	12,238人	20年度	12,057人
14年度	13,479人	21年度	13,599人
15年度	15,486人	22年度	15,163人
16年度	16,984人	23年度	17,966人
17年度	16,743人	24年度	19,476人
18年度	18,461人	25年度	18,099人

2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。

2025年度は30件の行政や企業、団体等と連携して、常設・企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	BIZCOLI エントランスの九州アジア逆さ地図の展示
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など

企業・団体名	展示物など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(一社)日本内部監査協会	書籍、資料の提供
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	日本経済の「今」がわかる 関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
別府市	県作成芸術文化実施計画・移住・定住計画など
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
椎葉村	椎葉村広報雑誌・移住案内など
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(NPO 法人)九州・アジア経営塾	次世代ビジネスリーダー育成プログラム推薦図書展示
北九州市立大学	K2BS (ビジネススクール) 教科書・参考図書展示

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	九州エネルギー問題懇話会による企画展示
絶景九州	写真の展示 (パネル、映像)
(一社)ツール・ド・九州	「マイナビ ツール・ド・九州 2025」の展示
西日本鉄道(株)	ワンビル開業に伴う街の姿の変遷展示
日田市・福津市	観光まちづくり展示 (映像・写真・パンフレット)

(2) 講演会・セミナー会場の運営

2025 年度の BIZCOLI 内にある講演会・セミナー会場の外部利用による収益額は、対前年同期比 5%減の 249 万円であった。マイデスクゾーンは延べ 2,278 時間の利用があり、収益額は対前年同期比 20%減の 22 万 7 千円であった。

(3) 個室空間の提供

電話や Web 会議など、周囲を気にせずに利用できるひとり用の個室空間として、リモートミーティングボックスを提供しており、2025 年度は延べ 426.7 時間の利用があり、対前年同期比 31%減の 17 万円であった。

(4) レンタルアドレスサービス

維持会員や BIZCOLI 会員が、BIZCOLI を住所登記できるレンタルアドレスサービスを、2025 年度からスタートした。2025 年度は 1 件の登録があった。

5. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会の事務局

会員数 457名 (2026年3月末現在)

2025年度決算 73,477千円

2025年度の主な活動 (福岡経済同友会／九州経済同友会)

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常総会、常任幹事会、幹事会の開催 ・ 例会の開催 ・ 各委員会における講演会、視察会等の実施 ・ 県立高等学校、市立中学校への出前講座の実施 ・ 春秋会 (ゴルフコンペ)
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州経済同友会大会 (宮崎) ・ 会員合同懇談会 (長崎) ・ 代表幹事会 ・ 企画委員会 ・ 九州地域戦略会議 ・ 九州経済を考える懇談会

* その他、講演会や会合などを開催 上記を含む総会合数 144回 (うち共催・後援 13回)

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

「九州経済を考える懇談会」は、九州の経済団体トップが集まり、九州の主要課題等について議論する会合である。2010年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始され、2013年に現在の名称に変更した。当会理事長がファシリテーターを務めており、2025年度は以下の内容で開催した。

No.	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	7月4日(金) (一社)九州経済連合会	1) 第47回九州地域戦略会議の総括と今後の対応について 「働き方改革」の改革について	(一社)九州経済連合会 会長 池辺 和弘 氏 (座長) 九州商工会議所連合会 会長 谷川 浩道 氏 九州経営者協会 倉富 純男 氏 九州経済同友会 代表委員 青柳 俊彦 氏 (一財)九州オープンイノベーションセンター 会長 瓜生 道明 氏 当会 縄田理事長(ファシリテーター、司会)
第2回	2月10日(火) (一社)九州経済連合会	1) 九州経済の中長期的課題について (人材戦略) 2) 九州地域戦略会議について 3) 九州における「価格転嫁の商習慣」の定着に向けて	(一社)九州経済連合会 会長 池辺 和弘 氏 (座長) 九州商工会議所連合会 会長 谷川 浩道 氏 九州経営者協会 倉富 純男 氏 九州経済同友会 代表委員 青柳 俊彦 氏 当会 縄田理事長(ファシリテーター、司会)

6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政機関等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞等への寄稿・コメント掲載等を行った。

対外活動実績

区 分	内 容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	<p>【行政】 経済産業省、内閣府、九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県、福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、糸島市、柳川市</p> <p>【団体】 (公財)飯塚研究開発機構、(公財)経営者顕彰財団、(公財)福岡アジア都市研究所、福岡アジア高齢社会デザイン協議会、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(一財)機械振興協会経済研究所、(一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会、(一社)九州観光機構、(一社)九州経済連合会、専門図書館協議会、福岡県立図書館、福岡市総合図書館</p>	就任件数 計 37 件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	法政大学大学院、福岡女学院看護大学 * 通期での担当のみ掲載	計 2 大学 2 講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	NHK 福岡、NHK 大分、毎日放送、九州朝日放送、福岡放送、テレビ西日本、テレQ、テレビ長崎	延 31 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日経速報ニュースアーカイブ、日経ビジネス、日経ヴェリタス、日経ビジネス電子版、毎日新聞、毎日新聞速報ニュース、日経MJ、公明新聞、西日本新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、沖縄タイムス、琉球新報、日本食糧新聞、日刊産業新聞、日刊工業新聞、日刊建設工業新聞、鉄鋼新聞、ジェットロ・ビジネス短信、ガスエネルギー新聞、慶南道民新聞(韓国)、ニュース慶尚南道(韓国)、慶南日報(韓国)、内外経済 TV(韓国)、マネートゥデイ(韓国)、財界九州、東洋経済会社四季報オンライン	延 183 件
(5) インターシップの受入	九州大学 (6月23日(月)～7月2日(水))	1 人
(6) 外部主催の講演会への講師派遣	詳細は巻末を参照。	延 69 件 参加者数 延 7,988 人
(7) セミナー等への参加・企画協力	詳細は巻末を参照。	延 21 件

7. 会務運営

(1) 運営体制の充実を図るための取り組み

法定機関である評議員、理事・監事による評議員会、理事会の決議の下、適正な組織運営に当たっている。加えて、当会では多様な意見や助言を得ることで事業の質の向上等を図ることを目的に、74名の幹事、11名の企画委員（幹事を兼務）、14名の顧問、14名の参与を選任している。

①理事会・評議員会の開催

2025年度は、理事会を6回、評議員会を5回開催した。代表理事及び常務理事は、毎事業年度に4ヵ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告した。

理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議案等
5月29日 (木)	2025年度第1回 第61回理事会	【決議事項】 第1号議案 2024年度事業報告（案）について 第2号議案 2024年度決算（案）について 第3号議案 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第4号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 創立80周年記念事業について 第2項 その他
6月16日 (月)	2025年度第2回 第62回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 代表理事・会長の選定について 第2号議案 代表理事・理事長の選定について 第3号議案 業務執行理事の選定について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 評議員会（書面表決）の招集について 【報告事項】 第1項 評議員の選任について 第2項 理事の選任について 第3項 監事の選任について
8月1日 (金)	2025年度第3回 第63回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について
9月5日 (金)	2025年度第4回 第64回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員会の選任について 【報告事項】 第1項 参与の委嘱について
10月21日 (金)	2025年度第5回 第65回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 創立80周年記念事業について 第2号議案 2025年度事業計画の一部変更について

開催日	開催理事会	議案等
		第3号議案 2025年度更正予算(案)について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 2025年度上期事業報告について 第2項 評議員の選任について 第3項 幹事会について 第4項 参与会の開催について 第5項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第6項 その他
3月3日 (火)	2025年度第6回 第66回理事会	【決議事項】 第1号議案 2026年度事業計画(案)について 第2号議案 2026年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 顧問、参与の委嘱について 第5号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 創立80周年記念事業の進捗について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 その他

評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月16日 (月)	2025年度第1回 第43回評議員会	【決議事項】 第1号議案 2024年度事業報告(案)について 第2号議案 2024年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 第4号議案 理事の選任について 第5号議案 監事の選任について 【報告事項】 第1項 九経調地域研究助成事業助成先の決定について 第2項 創立80周年記念事業について 第3項 その他
6月30日 (月)	2025年度第2回 第44回評議員会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員会議長の選定について 【報告事項】 第1項 会長、理事長、業務執行理事(常務理事)の選定について 第2項 幹事の選任について
9月26日 (金)	2025年度第3回 第45回評議員会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 幹事の選任について 第2項 参与の委嘱について
11月10日 (月)	2025年度第4回 第46回評議員会	【報告事項】 第1項 創立80周年記念事業について

開催日	開催評議員会	議案等
		第2項 2025年度事業計画の一部変更について 第3項 2025年度上期事業報告について 第4項 2025年度更正予算について 第5項 幹事の選任について 第6項 幹事会について 第7項 参与会の開催について 第8項 その他
3月11日 (水)	2025年度第5回 第47回評議員会	【報告事項】 第1項 2026年度事業計画について 第2項 2026年度予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 創立80周年記念事業の進捗について 第5項 その他

②幹事会・企画委員会・参与会の開催

当会の目的の達成に向けて実施する事業等について意見や助言を求めため、理事会が選任した幹事による幹事会を開催した。また、企画委員が参加する企画委員会を開催し、自主研究の内容について指導・助言を仰いだ。さらに国の出先機関の局長等で構成する参与、ならびに理事・評議員・監事が参加する参与会を開催し、九州をとりまく主要課題について意見交換を実施した。

2025年度は幹事会、企画委員会、参与会をそれぞれ1回開催した。

幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
1月20日 (火)	第21回幹事会	1 2025年度幹事会からの提案による自主研究の報告 2 2026年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 3 その他

企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月16日 (火)	企画委員会	1 2025年度自主研究の報告 2 2026年度自主研究テーマ(案)について 3 その他

参与会の開催状況

開催日	開催参与会	議案等
12月3日 (水)	第13回参与会	1 九州をとりまく主要課題と対応策(長期的視点を中心に) 報告者: 縄田理事長 2 その他

(2) 財務経理・人事労務並びに人材育成の強化

2025年6月に、主務官庁の内閣府に対して2024年度事業報告・財務諸表等を提出した。人事労務については、各申請書類のデジタル化、柔軟な勤務体制への変更等を進めている。

当会では外部研修を推奨し、研究員の資質向上につなげるとともに、外部との交流を積極的に行うことで研究員の知見を広げ、人的ネットワークの拡大に取り組んでいる。なお、新卒採用強化に向けて、厚生労働省が認定する「ユースエール」(若手の採用・育成に積極的な企業を認定)と、「えるぼし」(女性の活躍推進への取組みが優良な企業を認定)を2021年度より取得している。

(3) コンプライアンス強化の対応

2018年より公的研究費の適切な仕様・管理のための取り組みとして、不正防止や適正使用に関する規定等を整備し、不正行為発生時の対応方針を定めている。また、内部通報制度(ヘルプライン)に関する規定等も定めている。さらに研修費を増額し、財団運営に携わる管理部門の研修機会を増やしている。

(4) 会員維持・拡大

① 賛助会員

DATASALAD や BIZCOLI、セミナー、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めた。2025年度の入会件数は21件で、26.25口となった。また、退会件数は30件であり、会員数は期首567会員から9会員純減して558会員となった。会費実勢額は1億2,771万円である。

賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
2025年度期首	567	90	456	17	4
入 会	21	3	16	2	0
退 会	30	3	25	2	0
増 減	-9	0	-9	0	0
会員種別変更	0	-1	1	0	0
2025年度末	558	89	448	17	4

・2015年度末	会員数	576会員	・会費実勢額	1億2,648万円
・2016年度末	会員数	574会員	・会費実勢額	1億2,574万円
・2017年度末	会員数	583会員	・会費実勢額	1億2,649万円
・2018年度末	会員数	593会員	・会費実勢額	1億2,791万円
・2019年度末	会員数	590会員	・会費実勢額	1億2,796万円
・2020年度末	会員数	570会員	・会費実勢額	1億2,505万円
・2021年度末	会員数	572会員	・会費実勢額	1億2,669万円

・ 2022 年度末	会員数	578 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,818 万円
・ 2023 年度末	会員数	564 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,808 万円
・ 2024 年度末	会員数	567 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,896 万円
・ 2025 年度末	会員数	558 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,771 万円

②BIZCOLI 会員

2025 年度の会員数は、期首 61 会員から 64 会員となった。会費実勢額（月会費×12 カ月）は、2025 年度末で 709 万円、対前年同期比 12.5%の増となった。

BIZCOLI 会員の内訳 （64 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	7	フルタイム+土曜日	0
デイトタイム	15	デイトタイム+土曜日	0
ナイトタイム	21	ナイトタイム+土曜日	9
土曜日	12	合 計	64

事業報告の附属明細書

2025 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。

(参考)

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 69 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く展開している。
2025 年度は 69 件の講師派遣を行った。

講師派遣一覧

日程	依頼元	会合名・タイトル	講師	参加者数
4月15日 (火)	九州財務局大分財務事務所	第8回おおいた活性化フォーラム 人口減少社会と共に生きる未来へ 2024年版九州経済白書	松嶋次長	40人
4月18日 (金)	日本証券アナリスト協会九州支部	日本証券アナリスト協会【九州地区交流会】 事業承継から描く九州の未来	松尾主任研究員	20人
4月22日 (火)	三菱電機(株)九州支社	経営方針説明会 九州経済の現状と見通しについて	河村研究主査	62人
4月22日 (火)	玄海キャピタルマネジメント	玄海キャピタルマネジメント社内会議 2024年版九州経済白書	松嶋次長	20人
4月23日 (水)	(公財)北九州産業学術推進機構	半導体産業振興に向けた今後の方向性の検討会	岡野常務理事	16人
4月25日 (金)	(一社)九州経済連合会	下関北九州道路シンポジウム	岡野常務理事	900人
4月25日 (金)	長崎県立大学	地域創造概論 2025九州経済白書	松尾主任研究員	277人
5月21日 (水)	日本文理大学	教養教育科目 産学一致の勧め 九州の産業構造	河村研究主査	600人
5月23日 (金)	(公財)土木学会 西部支部	土木学会西部支部定期総会特別講演会 九州地域の社会経済情勢とインフラ整備の展望	岡野常務理事	55人
5月23日 (金)	(株)福岡ソフトリサーチパーク	福岡エレコン交流会 はやわかり九州経済～現状と今後の見通し～	清水主任研究員	30人
5月24日 (土)	河野しゅんじ後援会事務局	宮崎県県政報告会 九州の経済発展と交流インフラ～東九州新幹線のインパクトを考える～	岡野常務理事	650人
5月28日 (水)	野村證券(株)	海外機関投資家との意見交換 九州地域の半導体サプライチェーンについて	河村研究主査	1人
6月9日 (月)	電気ビル二木会事務局	電気ビル二木会6月例会卓話 事業承継から描く九州の未来	松尾主任研究員	30人
6月17日 (火)	西南学院大学	地域ビジネス事情 九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」に関する講義	河村研究主査	247人
6月23日 (月)	北九州市立大学	特別講義（環境都市論） 再生可能エネルギー	松嶋次長	100人
6月25日 (水)	内閣府 経済社会総合研究所	ESRI政策フォーラム 地域における賃金の持続的な上昇に向けて	松嶋次長	130人
6月26日 (木)	日向商工会議所	日向商工会議所通常議員総会 九州の経済発展と交流インフラ～東九州軸の強化を目指して	岡野常務理事	76人
7月3日 (木)	福岡市立福翔高等学校	令和7年度総合的な探究の時間 「SDGs チャレンジプロジェクト」最終発表コメントター	平松研究主査	30人

日程	依頼元	会合名・タイトル	講師	参加者数
7月24日 (木)	(株)福岡銀行	若手経営者の会 経済発展の原動力と交流 インフラ～九州の稼ぐ力と交流インフラが 産業形成に果たす役割～	岡野常務理事	61人
7月25日 (金)	高周波・アナログ半導 体ビジネス研究会	アナログ技術トレンドセミナー 九州にお ける半導体産業の動向	岡野常務理事	34人
7月26日 (土)	(公財)日本技術士会九 州本部	(公財)日本技術士会九州本部第2回 CPD 半導体産業の集積が進む九州の現状と展望	岡野常務理事	84人
7月31日 (木)	北大経済圏構想推進協 議会	幹事会併催事業 拡大する北大経済圏港 湾の成長ポテンシャル	片山部長	20人
8月6日 (水)	(株)福岡リアルティ/福岡 地所(株)	2025年 福岡・九州マーケットの展望	片山部長	80人
8月21日 (木)	(公財)岡山県産業振興 財団	おかやま半導体関連コンソーシアム第1回 勉強会 新生・シリコンアイランド九州の 進む道	岡野常務理事	66人
8月23日 (土)	民介協九州支部事務局	全国介護事業所協議会(民介協)九州・沖縄ブ ロック研修会	松尾主任研究員	20人
9月4日 (木)	(株)沖縄銀行	地銀調査担当部長会議 基調講演	片山部長	15人
9月5日 (金)	九州軟包装部会	夏季セミナー トランプ関税等世界情勢が 九州経済に与える影響について	河村研究主査	36人
9月9日 (火)	中華経済研究院	台日科技サミットフォーラム 台湾と九州 地域における半導体及び先端科学技術の産 業発展について	岡野常務理事	200人
9月9日 (火)	九州経済産業局	九州経済産業局職員研修 九州の産業の歴 史を紐解く その1 明治～戦後復興期	片山部長	60人
9月17日 (水)	九州経済産業局	九州経済産業局職員研修 九州の産業の歴 史を紐解く その2 高度成長期～現在	片山部長	60人
9月19日 (金)	筑後アグリネットワー ク	第2回筑後アグリネットワーク 農業と M&A	松尾主任研究員	160人
9月25日 (木)	九州産業大学	大学寮生対象の講演会 九州経済ことはじ め	加峯部長	80人
9月26日 (金)	福岡商工会議所	人が足りない時代に組織人のわたしたちが できること	縄田理事長	55人
10月2日 (木)	九州大学大学院	価値創造型半導体人材育成事業 九州シリ コンアイランドの最新状況	岡野常務理事	14人
10月8日 (水)	Q-BASS (株)福岡銀行	第2回九州半導体産業展 半導体設計の民 主化と半導体ユーザー企業の価値創造	岡野常務理事	154人
10月9日 (木)	九州半導体産業展	第2回九州半導体産業展 新生・シリコン アイランド九州のデザイン	岡野常務理事	160人
10月15日 (水)	福岡県	福岡超集積半導体ソリューションセンター 開所記念フォーラム	岡野常務理事	200人
10月16日 (木)	(株)日立製作所	日立グループ定例会 九州経済見通し 2024年版白書	松嶋次長	30人
10月22日 (水)	九州工業大学	3キャンパス連携大学院講義 シリコンア イランドの進化とポテンシャル	岡野常務理事	71人
10月23日 (木)	三菱電機(株)九州支社	三菱電機九州 BI 会総会 九州・福岡マ ーケットの展望	片山部長	30人
10月26日 (日)	(公財)日本技術士会九 州本部	第51回技術士全国大会 地域-高まる力～ 半導体産業の集積と地域の未来	岡野常務理事	74人
10月29日 (水)	三井物産(株)九州支社	九州を取り巻く事業環境分析講演&WS 一 次産業、デジタルインフラ、省人化など	片山部長	25人
11月9日 (日)	九州大学ビジネススク ール	QBS 短期エグゼクティブプログラム	片山部長	30人
11月11日 (火)	(一財)日本 MRS	第35回日本 MRS 年次大会 半導体ビジネ スの世界動向と九州の半導体産業	岡野常務理事	617人

日程	依頼元	会合名・タイトル	講師	参加者数
11月21日 (金)	(株)大銀経済経営研究所	おでかけウォッチャーのご紹介/社会起業家支援の西日本における動向	秋野研究主査 得能研究員	3人
11月25日 (火)	産官学建設技術交流会	九州の地方創生とインフラの未来 九州の経済発展と交流インフラ	岡野常務理事	127人
11月25日 (火)	三井物産(株)九州支社	九州経済の概況、その特性と重点トピックス～人手不足と外国人・AI、脱炭素とサーキュラーエコノミー	平松研究主査	40人
11月27日 (木)	九州ビルディング協会	例会講話 データでみる九州経済のいま	平松研究主査	55人
12月2日 (火)	(株)福岡銀行	GX・サステナビリティセミナー	片山部長 平松研究主査 松尾主任研究員 永野研究主査 秋野研究員 吉村研究員	53人
12月4日 (木)	福岡地所(株)	Deeptech Bridge Fukuoka #2 九州のディープテックエコシステムのあるべき姿	岡野常務理事	51人
12月19日 (金)	北九州市	北九州市官民対話テーブル 半導体関連産業の現状及び北九州市の立位置、今後の発展に向けて	岡野常務理事	34人
12月24日 (水)	九州経済産業局	九州地域産業構造研究会 九州地域の産業について	片山部長	50人
12月25日 (木)	大分県	中九州横断道路広域シンポジウム 中九州横断道路と大分・熊本の「これから」	永野研究主査	600人
1月14日 (水)	大分県	九州・四国広域交通ネットワークシンポジウム スーパーメガリージョン形成を見据えた西日本の機能・連携強化	岡野常務理事	600人
1月22日 (木)	篠原アソシエイツ(株)	関与先経営者様向けセミナー 2026年の九州経済の行方について	岡野常務理事	44人
1月23日 (金)	メルコモビリティソリューションズ(株)	福岡・九州の不動産/産業投資の動向	片山部長	20人
1月23日 (金)	佐賀県立図書館	第131回レファレンス研究会 BIZCOLIレファレンスサービス最前線	祭城部員	25人
1月27日 (火)	那珂川市	ペロブスカイト太陽電池の基礎知識と動向	藤井次長	20人
2月9日 (月)	(一社)九州地域づくり協会	九州風景街道交流発表会	岡野常務理事	101人
2月13日 (金)	九州旅客鉄道(株)	JR九州グループ 経営ボードメンバー勉強会	片山部長	60人
2月13日 (金)	三井物産(株)	三井物産九州食品メーカー会 データでみる九州経済の現在と今後の展望	平松研究主査	35人
2月19日 (木)	(一社)北海道新産業創造機構	会員向けセミナー 新生・シリコンアイランド九州の実現に向けた取り組みと北海移動への提言	岡野常務理事	66人
3月11日 (水)	九州経済産業局	個を活かす組織経営改革シンポジウム～九州から発信する、「共感」でつなぐ個と組織の成長～ 個を活かす組織経営改革	永野研究主査	90人
3月16日 (月)	佐賀県	令和7年度佐賀県景気動向指数検討会 景気動向	松嶋次長	10人
3月19日 (木)	(一社)西日本工業倶楽部	西日本工業倶楽部講演会 新生シリコンアイランド九州の新しいデザイン	岡野常務理事	30人
3月23日 (月)	(株)福岡リアルティ/福岡地所(株)	福岡・九州の不動産マーケット	片山部長	70人
3月24日 (火)	直方宗像沿線自治体連絡協議会事務局	沿線地域における経済面や将来性などのポテンシャルについて	能本次長	18人

日程	依頼元	会合名・タイトル	講師	参加者数
3月25日 (水)	(一社)日本電機工業会 九州支部	第129回企業研究会 新生シリコンアイランド九州のデザイン	岡野常務理事	16人
3月28日 (土)	九州大学ビジネス・スクール	経済学概論(「ミクロ経済」「行動経済(ナッジ理論)」、「九州経済動向」)	片山部長	50人

2. セミナー等への参加・企画協力(計21件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力している。

協力実績

日程・場所	主催者	会合名	備考
7月10日(木) 九州オープンイノベーションセンター	(一財)九州オープンイノベーションセンター	社会課題解決のためのソーシャルイノベーションプロジェクト2025「学ぶ編」	後援
7月14日(月) 福岡SRPセンタービル SOIL イベントスペース	(一社)九州ニュービジネス協議会	第160回ベンチャープラザ二月会	後援
8月20日(水) ~2026年1月29日 (木) 九州オープンイノベーションセンター	(一財)九州オープンイノベーションセンター	社会課題解決のためのソーシャルイノベーションプロジェクト2025『ソーシャルビジネス実践講座(全5回)』	後援
9月4日(木) アクロス福岡 円形ホール	九州経済産業局 (一社)九州経済連合会	~タレントシェア九州ラボ、始動。~「越境と共創が拓く可能性」	後援
9月18日(木) 明治安田ホール福岡	(公財)福岡アジア都市研究所	令和7年度 第1回都市セミナー 「脱炭素社会の実現に向けて~カーボンニュートラルを実装した都市を目指して~」	後援
9月18日(木) KMMビル会議室	経済産業省	令和7年度資源自律経済確立産官学連携加速化事業 半導体産業における循環経済社会を目指して「『循環経済社会をともに考える・動静脈をつなぐ 循環経済対話・マッチングセミナー』in北九州	後援
9月26日(金) ~28日(日) マリンメッセ福岡B館	(一社)アートフェアアジア福岡	ART FAIR ASIA FUKUOKA 2025	後援
10月9日(木) 電気ビル本館 カンファレンス8号	福岡経済同友会、社会課題と企業のありかた委員会	社会課題と企業のありかた委員会 第1回講演会	後援
10月10日(金) ONE FUKUOKA BLDG カンファレンス	(一財)ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団	キューテック贈呈式2025	後援
11月19日(水) JR九州ホール	(株)西日本新聞社	九州DXカンファレンス2025「九州経済のDX最前線とビジネス変革」	後援

日程・場所	主催者	会合名	備考
11月20日(木) ～21日(金) 熊本城ホール	九州台湾クリエイティブカンファレンス 実行委員会	九州・台湾クリエイティブカンファレンス in 熊本	後援
12月8日(月) ハイアットリージェン シー東京	(公財)九州大学学術研 究都市推進機構	九州大学学術研究都市セミナー in Tokyo 2025「未来社会を先導する九州大学の総合知 ～分野を超えて共創するグローバルイノベー ション～」	後援
12月8日(月) 熊本城ホール 大会議室 A4	経済産業省	令和7年度資源自律経済確立産官学連携加速 化事業(特定領域におけるサーキュラーエコ ノミー実現に向けた調査分析) はんどうタイ 産業における循環経済社会を目指して「循 環社会をともに考える・動静脈をつなぐ 循環 経済対話・マッチングセミナー in 熊本」	運営
12月17日(水) 電気ビル本館 カンファレンス8号	福岡県 福岡経済同友会	第13回社会貢献セミナー	後援
12月19日(金) アクロス福岡 大会議室	(公財)福岡アジア都市 研究所	令和7年度第2回都市セミナー「地域のつな がいが生み出す持続可能なまちづくり」	後援
2月13日(金) TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイ ホール メインホール B	(一財)オープンイノベ ーションセンター	九州 GX 推進フォーラム「～脱炭素が拓く企 業価値創造の新時代～」	後援
3月4日(水) 明治安田ホール福岡	(公財)福岡アジア都市 研究所	令和7年度第3回都市セミナー「新たな時 代を自分らしく生きるための提案～一人一人 が活躍できるまち・福岡を目指して～」	後援
3月4日(水) 日本経済新聞社 西部支 社ビル 会議室	(一財)九州オープンイ ノベーションセンタ ー	社会課題解決のためのソーシャルイノベー ションプロジェクト2025「ソーシャルビジネ ス実践講座 成果発表会」	後援
3月9日(月) 大博多ビル	(一社)九州ニュービ ジネス協議会	第161回ベンチャープラザ二月会	後援
3月14日(土) ～21日(土) 九州大学 伊都キャンパス	九州大学 企画部社会共創課	九州大学公開講座「Kyushu University Open Explorations 100-総合知』探求-」	後援
3月17日(火) BIZCOLI ミーティング ルーム	まごころ M&A パー トナーズ	ASEAN クロスボーダーM&A～実行のため の実務セミナー	後援